

**「長門市農産物等直売施設整備基本計画（案）」に対する意見
及びこれに対する市の考え方**

■意見募集期間 平成22年12月6日（月）～平成23年1月5日（水）

■意見の件数 18名 41件

■意見の概要と市の考え方

【進行管理に関するもの】

No.	意見の概要	市の考え方
1	少子高齢化・人口減少社会の情勢下において、バブル時代の様な売上高や交通量等の右肩上がりの予測や「これぐらいは見込める」といった過信はせずに、市民が納得する裏付けデータ等の提示・説明は重要である。	本計画の推進にあたっては、市民の皆様への参画・協働に向けた取組が必要不可欠であり、市民の皆様のご理解・ご協力が得られるよう情報等の提示、説明に努めてまいります。
2	平成23年7月から試験店舗を開設する計画ですが、生産者（出荷者）に、この計画の説明会などを開催してはどうか。	実証実験店舗・本体施設の開設にあたっては、生産者への説明会などを実施し、十分な周知を図っていきたいと考えます。

【施設整備の目的・コンセプトについて】

No.	意見の概要	市の考え方
1	購買者（マーケット）は39,000人の長門市から都市圏（福岡・東京・大阪）へ視線を向けることは理解できるが、生産者から消費者への新鮮・安価な流通の検討が必要である。	本施設の将来構想では、都市部の消費者への直接販売を推進し、外貨の獲得も目指していきたいと考えています。 「新鮮」「安価」「安全」な産物の提供には、流通ルート・コスト等の課題がありますので、運営主体・関係団体が連携し十分な検討が必要と考えております。
2	金子みすゞさんの観光、青海島の観光、そして湯本の旅館に泊まって・・・と限りなく長門全体がうるおう材料になると感じる。是非、このチャンスを行政も本気で応援していただきたい。	本計画の目的にも「観光情報の一元化と観光の活性化」を上げており、本施設が長門の産業振興の拠点となることを目指しております。

3	<p>大都市からのアクセスである二次交通の不備を指摘され続けている湯本温泉に東萩の終着駅を湯本に移動できるほどのバスターミナルを備えた地所が確保できそうであれば、その中でのこの度の施設整備の相乗効果は間違いなく、大阪、広島、福岡、北九州等のエリアと直接の人口移動が可能になって、ひいては、長門市全体の豊かさに直結すると信じます。この度の計画に対して行政の皆様の目を私達の子供や孫に向けて、「今何が大切か、必要か」という部分に向けての思考・検討を心からお願い申し上げます。</p>	<p>本施設の整備は、地域資源の利活用を図り、農商工の連携による地域経済の活性化に繋がると考えております。今後、本施設を核とした産業・観光振興策を検討していく中で、参考にさせていただきます。</p>
4	<p>戦略会議の提言は、長門市の少子高齢化が進む中で、いかに地域経済を活性化していくかの方向性を示しめしたもので、これは、昼夜人口の増大、1次産業による外貨流入に他ならないと思います。負の遺産を残さないためには、よほど特色のある施設にしないと難しいと思います。</p> <p>友人から「観光を標榜しているのであれば、ターミナル機能を併設した観光案内所等の接遇施設が、湯本・仙崎に設置されていて当然だ」と言われた。湯本温泉がそのまま衰退し、万一无くなるようなことがあれば、長門市全体の問題です。湯本温泉が担っている地域への貢献(雇用や他産業への影響)も多大なものがあると思います。</p> <p>今後、実施計画の策定に入られる前に、湯本温泉街の整備と一体となった計画を策定され、将来に希望ある事業が推進されることを切望いたします。</p>	

5	<p>是非、目標を長門市民以外から外貨を稼ぐことを第1ポイントに上げて欲しい。今後、計画を成功させるには、第1に建設場所が重要、第2に対象のターゲットを誰にするのか明確にすること、第3に商品の選択（地元にはかないもの）。地元の活性化だけを狙うなら、まず成功はしないだろう。</p> <p>長門市は、観光で飯を食べると宣言して欲しい。また、物を造って渡し、「後を頼むよ」で終わりでは意味がない。長門市が会社で、会社組織を立ち上げると意識が欲しいし、利潤を目的とした経営をお願いしたい。</p>	<p>「まるごと長門『旬』市場」をコンセプトに、「儲ける仕組みづくり」を担う中核施設として農産物等直売施設の整備を行う計画です。この施設は、公益性・収益性を併せ持つ施設であるため、公益性のみを求める公共施設の運営ではなく、指定管理者制度を利用し、収益性も追及する民営組織による管理・運営を考えております。</p>
---	---	--

【整備・運営手法について】

No.	意見の概要	市の考え方
1	<p>運営方針は民間主導が原則と思う。</p>	<p>本計画では、整備・運営手法を「公設民営」とし、運営については、指定管理者制度を想定しており、民間の活力を十分に活用していきたいと考えております。</p>
2	<p>市の職員でバカになって長門市をPRしてくれる専任の担当者を置いて運営にあたって欲しい。</p>	<p>現段階では、市の職員の派遣については考えておりませんが、施設の運営に当たっては民間活力を十分発揮し、長門市全体をPRする必要があると考えております。</p>
3	<p>長門市観光協会を情報発信基地としては如何か。</p>	<p>本施設においては、観光情報発信コーナーを計画しており、観光資源や地域情報を積極的に内外に発信していきたいと考えております。ご意見は、具体的な運営体制を検討していく中で、参考とさせていただきます。</p>

【整備する施設について】

No.	意見の概要	市の考え方
1	<p>施設の配置について、社会福祉の観点で、長門市内にある障害者の授産施設や作業所等で製造された手芸品や食品等の販売ブースを設けてもいいのではないかと。障害者の社会参加という点でも考慮すべきである。</p>	<p>加工品の出荷、飲食ブースへの出店等を通して本施設への参加を考えていきたいと考えます。</p> <p>ご意見により、本計画の3ページに記載しております「(3) 多様な団体・企業の連携による地域力の向上」の中で、連携する団体の中に「福祉団体」を追記し、多様な団体・企業との連携に努めていきたいと考えます。</p>
2	<p>農産物、並び水産物加工場（販売所併設）による直売所構想は如何か。</p>	<p>本計画では、農産物の加工所を想定しています。水産物の加工所については、その設置場所も含め、別途、検討すべきと考えます。</p>
3	<p>当然、広い駐車場は必要であるが、多人数収用可能な公衆トイレも必要である。</p>	<p>駐車場、公衆トイレの規模については、利用者数等から適正な規模を整備するよう努めてまいります。</p>
4	<p>建設予定地の近くには、法人の経営する水田が点在しており、将来は、市民農園やミニ動物園なども視野に入れた計画もいいのではないかと。</p>	<p>本計画には、市民農園やミニ動物園の整備については想定しておりませんが、将来の施設機能の拡充の段階で、御意見を参考にさせていただきます。</p>
5	<p>長門市各地に行くコミュニティバスの発着場。買物弱者の手助けになるのではないかと。</p>	<p>現在、コミュニティバス発着場の計画はありませんが、ご意見の主旨を含め、施設利用者の利便性の確保について、今後、検討していきたいと考えています。</p>
6	<p>整備の中に公共交通（バス発着）を考えていただきたい。つまり、防長交通の大阪便、広島便、秋吉洞便等の誘致し、発着便を持つことで長門市が目的地となり、観光情報・産物情報の発信、輸送などに効果が現れるのではないかと。</p>	<p>他地域とのバス発着便の誘致については、現時点では検討しておりませんが、本施設が産業振興の拠点となることを目指す上からも、ご意見を施策の参考にさせていただきたいと考えております。</p>

【施設の立地計画について】

No.	意見の概要	市の考え方
1	これからの長門市を考え、長門市が一元に成りえ、情報発信・消費拡大・福祉に役立てる場所に農産物等直売施設の整備を希望する。	本計画では、観光客・利用者の利便性等を踏まえ、「板持エリア」を立地エリアに選定しており、長門市の産業振興の拠点となる施設を目指します。
2	交通量が多い市街区の中間、平地というだけでは、ただ単に通るだけの車にアピールするだけであり、広がりを求める施設、また、情報を発信する機能の面に於いても中途半端な機能しか持てないのではないか。	本計画で選定した「板持エリア」は、国道 316 号及び県道や広域農道が交差する周辺であり、市外からの観光客等を広く市内の各観光地域へ誘導が可能なエリアだと考えております。具体的な施設の設計の段階においては、情報発信の機能を十分に発揮できるよう協議していきたいと考えております。
3	従来は大きな建物を造ることで、事業が 90%成功したかの風潮でしたが、今からは、いかに建物の中に活力がみなぎっているかで成功・不成功が決まるのだと思う。地元の人のもとより、長門を訪れた人が、長門市で観光し、買物をし、そして夜は湯につかり、日々の疲れを癒す。これは、長門の大事な産業である湯本温泉の更なる集客力に繋がる。湯本近くの場所での建設が最適だと思います。	「板持エリア」は、中心市街地と湯本温泉の中間地点で観光客の主流ルートに位置し、市内基幹道路の集まっている場所と考えます。市内の多様な出荷者が出荷しやすく、観光客が立ち寄り易い場所としては最適と考えております。また、施設整備計画の推進の中で、儲ける仕組みづくりに取り組んでいきたいと考えております。
4	長門市が持っている湯本温泉という観光資源を有効に利用するためにも、なるべく温泉の近くに建設するべきだと思う。人が多く来ることによって、温泉と道の駅の相乗効果が生まれるのではないかと。	
5	地元の農家の方も高齢者が多く、若い後継者も居られない様な時に、板持では中途半端ではないでしょうか。	本施設への出荷者は長門市全域の生産者を想定しており、今後は、国道 316 号、広域農道等を利用して、長門市全域の生産者が出荷し易い仕組みを作りたいと考えております。

6	<p>湯本温泉・俵山温泉は大なる消費地区であり、食材として水産物・農産物を数億単位で消費している。この近郊に、J A、J Fの協力で農産物、活魚・鮮魚を手軽に提供できる体制を整えることを考えたかどうか。</p>	<p>湯本温泉・俵山温泉を含め、市内の他の温泉地や他の観光施設の情報を発信することで、その観光地域がさらに大きな消費地となることを目標としております。</p> <p>その相乗効果として、本施設へも多くの観光客の方々が訪れることが重要と考えます。</p> <p>そのために、御意見のとおり、J A、J F他の関係団体と連携し、新鮮な長門の産品が提供できるように努めていきたいと考えております。</p>
7	<p>何年先かは分からないが、山陰道の長門I Cを板持に繋がる場所に造る事で、長門市各地に観光客を広げる可能性のアップと県を代表する温泉地への利便性とアクセスの確保になる。</p>	<p>御意見のとおり、今後も可能な限りの情報を入手し、対応したいと考えております。</p>
8	<p>二次交通に悩んでいる湯本温泉の近くのもっと広い場所で、バスターミナル等も作れる未来性のある所で建設すべき。</p>	<p>交通量や施設利用者・出荷者の利便性等を勘案し、「板持エリア」を立地エリアに選定しております。</p>
9	<p>施設の内容については、他県の物まねではなく、また、二次交通に悩んでいる長門市においては広い場所でバスターミナルも作れる未来性のあるところでお願いします。</p>	
10	<p>外貨を獲得しやすい場所であり、全国から来訪される湯本温泉を情報発信場所として、観光客及び他県、近隣を取込む場所として、湯本温泉内に建設をお願いしたい。</p>	<p>本計画では、交通の導線、生産者の出荷の利便性を検討し、立地エリアを「板持エリア」としております。</p> <p>また、ここからは、市内全域へのアクセスが可能な場所と考えております。</p>

【施設の建設について】

No.	意見の概要	市の考え方
1	<p>建屋については、鉄骨・コンクリート造りを廃し、木造建築を望む。環境にやさしく温かみを感じる。経済的とは言い難いが、地域への経済波及効果は望める。</p>	<p>財政的な問題も検討しながら、地域経済への波及効果も考えて可能な限り地元木材を利用した施設整備を目指していきたいと考えます。</p>
2	<p>市有林や地元産の木材を利用した施設にして欲しい。</p>	<p>御意見のとおり、施設の建設にあたっては、可能な限り地元産の木材を使用し、長門の資源の有効活用と地域経済の活性化に繋がる施設整備にしたいと考えております。</p> <p>また、建設工事の発注方法につきましては、御意見を参考に、地域資源を有効に活用していきたいと考えております。</p>
3	<p>直売施設について、強く木造建築をお願いいたします。建築材については、地産地消の観点からも是非とも地元材の使用を強くお願いいたします。長門市有林の材を使用していただければと思います。地元には木材について、かなりの備蓄が有ると思いますので、これを機に公共事業等、地元木材の使用を推進し、地元の活性化を計っていただければと思います。</p>	
4	<p>近年、県外および県内の市町公共施設建設にあたり市町が経営する市町有林から生産された木材を利用したの建設事例が数多く見受けられます。隣接の下関市においても、当森林組合と製材所の連携により、道の駅や中学校建設の木部工事に関して市有林から間伐材として伐り出された木材を製材加工し供給した実績を有するところです。</p> <p>長門市においても地域産材の利用促進として、まず最も身近に存在する市有林の森林資源を可能な限り利用することを希望いたします。建築構造物として形あるものに残すことは付加価値を高め、長門市民の財産を目に見える形で活用した証になるのではないのでしょうか。</p> <p>また、建設工事の発注方法については、工事として使用する木材に関しては、これまで述べた点と長門市有林から出た材が確実に使用されることから、本体工事から分離した形が望ましいと思います。</p>	

5	農産物直売ということなので、地域産材を使った内外装使用し、地域産材を使ったというアピールをして欲しい。	御意見のとおり、設計の段階においては、地域産材を可能な限り利用すると同時に、来客者にアピールできるデザインにも配慮していきたいと考えます。
6	木の良さを前面に出した設計をして欲しい。(木製ドア、横架材、床、作業テーブル)	
7	施設の設計については、後々の運営についてもノウハウの有る成功実績のある会社に設計をお願いして欲しい。	設計業者の選定の段階において、十分に業者の実績を精査し、請負業者を決定していきたいと考えます。

【運営計画について】

No.	意見の概要	市の考え方
1	米価下落が続く中、長門市で生産されたお米を主原料としたパンを製造・販売すれば、少しでも長門市産のお米に付加価値もつくと考える。(商品名「ゴパン」という家庭で手軽にパンが作れる製品も販売されている)	長門市産米の販売拡大は、長門市の農業振興の大きな課題であり、そのための長門市産米の付加価値を高めることは、重要な課題と認識しております。 運営の段階において、御意見を参考にさせていただき、長門市産米の販売拡大に努めていきたいと考えます。
2	民芸品コーナーを設置し、国内向けに合わせ、外国人向けに小物を開発する。	商品の開発等に際して、御意見を参考にさせていただきます。
3	B級グルメや弁当が流行っていることもあり、長門市の農畜産物で作った「長門とり寿司」を長門ブランドにできれば良いと思う。農村レストラン・軽食ブース、直売施設で販売するのに向くのではないか。しかし、商品登録をしておかないと他のブランドにされてしまう。	
4	長門市しかない商品を必ず1つ以上置くことが大事。(この道の駅でしか買えない物)	

5	<p>「観光情報の一元化発信と観光の活性化」について、従来のPCやモバイルのホームページ、ブログに加え、ユーチューブやツイッター等のネットツールを利用し観光情報の発信を強化すれば、幅広い年齢層へ長門市観光の情報浸透の拡大もできるのではないかと。</p>	<p>交流人口の拡大による外貨獲得は本施設の大きな目的であり、幅広い年齢層へ情報発信することは重要な課題だと認識しております。御意見の各ネットツールの利用については、設計・運営の段階で、有効な情報発信ができるよう協議していきたいと考えております。</p>
6	<p>都会（都市）と結び付く事で、露出のアップに繋がる。</p>	<p>本施設を利用して都市部との交流を深めるために、運営主体・関係団体と連携し検討したいと考えます。</p>

【生産者確保と集出荷方法について】

No.	意見の概要	市の考え方
1	<p>農事組合法人として経営しているが、市内の他の法人と連携をとりながら、野菜等の計画的な出荷ができるのではないかとと思う。</p>	<p>御意見のとおり、本施設の運営には、市内の農業法人との協議・連携し、計画的な集出荷は不可欠なものだと認識しております。</p> <p>出荷団体の組織化においても協議していきたいと考えております。</p>
2	<p>野菜を栽培する上で、必ず2割から3割の規格外の品物が出るが、この加工施設を利用して女性部による特産品の加工・販売に取組みたい。</p>	<p>加工施設の有効利用は、生産者の所得向上に繋がる大切な問題であると考えます。加工施設の設計・利用については、設計段階において、関係団体と協議しながら進めていきたいと考えております。</p>